

## 令和元年度事業報告

### 【主要な取組】

#### 1 京都経済センターの本格稼働

平成31年3月に京都経済界の新たな拠点となる京都経済センターがグランドオープンし、行政、経済団体、産業支援機関、業界団体等が入居する中で、相互の交流・連携を深める取組が多く参加を得て実施されています。

当財団においても、入居団体の一員として積極的に参加するとともに、入居団体の協力・支援をいただく中で、11月の「きものの日」や1月の「1月6日の仕事始めはきもので」の取組を実施しました。

今後とも京都経済センターから和装振興を発信していけるよう取り組んでいきます。

#### 2 あり方検討委員会の開催

厳しい状況が続いている和装業界の活性化を図るため、和装振興に資する新たな取組を検討する場として、あり方検討委員会を設置しました。

次代を担う中堅・若手の方々等に委員に就任いただき、4月12日をスタートに、きもの着用シーンの拡大、きものを着始めるきっかけとなるイベントやライフスタイルの提案など消費拡大、市場の裾野を広げるための取組について意見を出し合い、議論していただきました。

その中で、まずは「和装教育の充実」を最優先で取り組むこと、加えて、若者のきもの着用のきっかけづくりや着用シーンの拡大に繋がる取組の実施について提案いただきました。

提案の具体化のための事業費は、令和2年度予算に計上し取り組んでいきます。

#### 3 きもの文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組

「和装（きもの文化）ユネスコ登録推進・連絡協議会」を開催し、文化庁地域文化創生本部三木事務局長から、文化庁の取組や登録の現状等について講演いただき、情報共有と連携強化を図りました。

また、京都で開催された「くらしの文化×知恵産業展」や「くらしの文化まつり」での啓発ブースの設置や、パリのユネスコ本部で開催された関西広域連合トッププロモーション、岩手で開催された「KOUGEI EXPO IN IWATE」等での周知による認知度の向上に努めました。

なお、令和2年4月に京都国際会館で開催される国連主催の「京都コンgres」において、きもの着付け体験による和装文化の発信の準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となりました。

#### 4 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組

きもの文化を世界に発信するまたとない機会を活かすため、東京オリパラ組織委

員会が実施した表彰式の衣装の公募に対する、(一社)全日本きもの振興会の夏きものの提案について、当財団としても全面的な協力を表明しましたが、採用とはならず残念な結果となりました。

なお、「東京オリパラにおいてきもの文化を発信できる機会があれば、是非とも協力させていただきたい。」との要望を、(一社)全日本きもの振興会とともに組織委員会に行っています。

## 5 きもの安全・安心推進会議への参加

和装業界の商慣行の改善運動を推進していく「きもの安全・安心推進会議」の趣旨に賛同して、11月に開催された設立総会に参加しました。

今後とも商慣行の改善運動の推進に協力・支援を行い、長期的に持続可能な和装産業の産地振興、市場振興をともに目指していきます。

## 6 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルスの感染拡大が進む中で、国・京都府・京都市からの要請を踏まえて、第4四半期はやむなく「室町きもの教室」1日コースの中止や理事会の書面による議決などの対応をとりました。

## 【資産運用】

令和元年度の基金等の運用については、「安全かつ有利」を基本に市場動向を注視していましたが、現在の運用を上回る魅力的な案件がなく、また、年度中に償還を迎える債権もないことから、新たな売買は行わず、引き続き、国債・社債・ユーロ円債等に分散して行いました。

その結果、運用収益は約2,230万円となり、前年度に買い替えたパワー・リバース・デュアル債の運用効果により、約330万円の増収となりました。

また、債券等の運用財産とは別に、平成18年6月に和装文化振興基金9千万円を取り崩して購入した不動産については、賃貸により活用しており、年間約470百万円の収入を得ています。

### 資産の運用状況 (令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

区分	額面	国債	劣後社債	一般社債	ユーロ円債	定期預金
基本財産	22,000	20,000				2,000
和装文化振興基金	1,168,000	510,000	200,000	200,000	200,000	58,000
合計額	1,190,000	530,000	200,000	200,000	200,000	60,000

## 債券の内訳

債券名	額面	購入時期	償還時期	備考
第120回20年国債	30,000	2011年11月	2030年6月	
第11回30年国債	300,000	2010年8月	2033年6月	
第152回20年国債	100,000	2015年9月	2035年3月	
政府保証第219回日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,000	2014年5月	2034年5月	
野村ホールディングス第3回期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	100,000	2010年11月	2025年11月	2020年11月以降早期償還あり
ロイズバンク・ピーエルシー(ユーロ円債)	200,000	2012年2月	2024年2月	
第7回三菱UFJG任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約及び劣後特約付)	100,000	2017年11月	-	2028年7月以降早期償還あり
シングルネーム・クレジットリンク債	100,000	2018年12月	2029年1月	
30年米ドル版 早期償還条項付為替連動債(パワー・リバース・デュアル債)	100,000	2019年2月	2049年2月	2022年2月以降早期償還あり
合計	1,130,000			

## 【和装普及啓発事業】

### 1 「1月6日の仕事始めはきもので！」事業の実施

一年の節目の折々にきものを着てもらうことを年中行事の一つとして定着することを目的に、京都経済センターに入居する全ての団体に、新年の仕事始めは是非きもの姿でと着用を呼び掛けたところ、多くの団体から協力の申し出があり、必要な方にきものレンタルと着付けを行いました。当日は、趣旨に賛同いただき自身で着用された方も含め、約150人の方にきもの姿で勤務いただきました。

また、当日、京都経済センターでの初めての新春互礼会を(一社)京都知恵産業創造の森と共催で実施したところ、きもの姿で多くの方に参加をいただき、場を盛り上げていただきました。さらに、これをきっかけに、きものに興味・関心を持たれ、当財団が実施する「室町きもの教室」に参加される方があらわれるなど、きものファンの拡大を図ることができました。

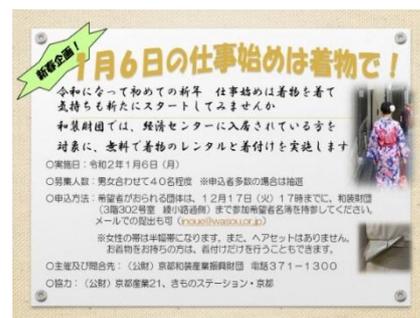
開催日：令和2年1月6日(月)

会場：京都経済センター

協賛：(一社)京都産業会館、京都信用保証協会、  
(公社)京都工業会、京都府中小企業団体中央会、(一社)京都知恵産業創造の森

協力：(公財)京都産業21、きものステーション  
・京都、NPO法人京ごころ

着用者：約150人 うち当財団斡旋15団体79人



## 2 室町きもの教室の開催

きもの着用のスタートアップ支援ときもの文化の次世代への継承を目指して、初心者向け着付け教室「室町きもの教室」を和装学院振興協議会の協力を得て開催しました。

今年度から、「きものステーション・京都」と連携して取り組むとともに、多くの方に気軽に参加していただけるよう、新たに2時間コースを年間24回開催し、参加者を大きく増やすことができました。

なお、3月3日、4日に予定していた春の1日コースの開催は、参加者も確定しておりましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、やむなく中止しました。

### <1日コース>

共 催：京都府、京都市

協 力：和装学院振興協議会

会 場：京都経済センター4階会議室

参加費：3,000円

定 員：各日10名

開催日	内 容	参加者数
11月13日	初心者向けのきもの着付け教室	5
11月14日	補正の仕方、襦袢の着方、	7
3月3日	きもの着方、なごや帯の一重太鼓結び、	中止
3月4日	着物のたたみ方等	中止
合 計		12

(前年度：37人)

### <2時間コース> ※新設

共 催：きものステーション・京都

協 力：和装学院振興協議会

会 場：きものステーション・京都

(京都経済センター1階)

参加費：1,000円

定 員：各日4名

開催日	内 容	参加者数
4月20日	女性のゆかたの着つけ	3
4月21日	女性のゆかたの着つけ	1
5月18日	女性のゆかたの着つけ	2
5月19日	女性のゆかたの着つけ	2
6月15日	女性のゆかたの着つけ	3
6月16日	女性のゆかたの着つけ	0
7月20日	女性のゆかたの着つけ	3
7月21日	女性のゆかたの着つけ	4

8月17日	女性のゆかたの着つけ	3
8月18日	女性のゆかたの着つけ	4
9月15日	男性のきもの着付け	3
9月21日	男性のきもの着付け	3
10月19日	女性の自分で結ぶ半幅帯	3
10月20日	女性の自分で結ぶ半幅帯	4
11月16日	襦袢・補正・きもの着付けまで	3
11月17日	襦袢・補正・きもの着付けまで	3
12月15日	自分で結ぶなごや帯の一重太鼓	4
12月21日	自分で結ぶなごや帯の一重太鼓	4
1月18日	自分で結ぶ袋帯の二重太鼓	2
1月19日	自分で結ぶ袋帯の二重太鼓	4
2月15日	襦袢・補正・きもの着付けまで	3
2月16日	襦袢・補正・きもの着付けまで	3
3月15日	自分で結ぶなごや帯の一重太鼓	2
3月21日	自分で結ぶなごや帯の一重太鼓	3
合 計		69

### 3 きもの修学旅行の実施

京都を訪れる中学校や高等学校の修学旅行生を対象に、きものを着て京都の文化に触れる「きもの修学旅行」を実施し、着ることの「楽しさ」や「おしゃれ感」などを体感していただき、将来のきものユーザーの拡大を図りました。

協 力：和装学院振興協議会、NPO 法人京ごころ

(単位：人)

実施日	学 校 名	男子	女子	先生	合計
5月29日	神奈川県 川崎市立有馬中学校	159			159
6月7日	群馬県 邑楽町立邑楽南中学校	38	33	5	76
9月12日	埼玉県 草加市立花栗中学校	62	57	7	126
11月6日	北海道 札幌南陵高等学校	84	78	7	169
11月6日	広島県 安田女子中学校		191		191
11月7日	広島県 廿日市立四季が丘中学校	42	43		85
11月19日	千葉県 千葉西高等学校	169			169
12月16日	大阪市 大阪暁光高等学校	3	40	2	45
	合 計 8校	557	442	21	1,020

(前年度：8校944人)

### 4 きもの・ゆかたレンタル

大学や専門学校等が実施する授業や着付け体験などにきものやゆかたを貸し出すことにより、きもの文化の普及・啓発に努めました。

貸出件数：17件361点（前年度：20件316点）

開催日	団体名	事業名・目的	物品
4月13日	三宅てる乃アカデミー	外国人向け着付け	角帯
6月5日～12日	同志社大学	留学生の着付け体験	ゆかた
6月26日	大阪アニメーションカレッジ	ゆかた体験	ゆかた
7月16日	(株)ワン・ワールド	京都市会受付業務	ゆかた
7月17日	京都民際	外国人学生のゆかた体験	ゆかた
7月16日～24日	アデコ(株)	市役所庁舎案内業務	ゆかた
8月16日	アデコ(株)	市役所庁舎案内業務	ゆかた
8月29日	京都学生祭典	留学生のゆかた体験	ゆかた
9月20日	京都医健専門学校	和装授業	ゆかた
10月4日～18日	京都医健専門学校	和装授業	きもの
10月12日	京都大学医学部茶道部	お茶会点前	きもの
10月16日～23日	同志社大学	留学生の着付け体験	ゆかた
10月19日	京都大学医学部茶道部	お茶会点前	きもの
11月23日	京都大学医学部茶道部	お茶会点前	きもの
1月1日	美しいきものと帯 角長	きもの姿での接客	きもの
1月18日	京都大学医学部茶道部	お茶会点前	きもの
1月20日	京都民際	外国人学生の成人式体験	きもの

## 5 「きものの似合うまち・京都」推進事業

「きものの似合うまち・京都」実行委員会の事務局として、京都きものパスポートの発行や、HPでのイベントカレンダーによる情報発信やサポーターによる体験談の掲載等、きものの着用機会を創出する事業を共同で実施しました。

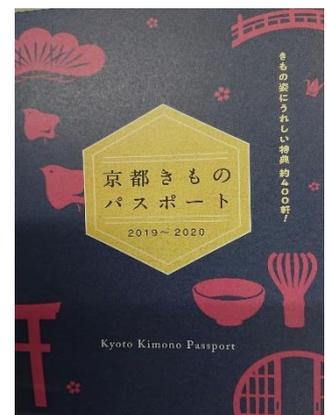
今年度は、京都きものパスポートの冊子を16ページから40ページに増やして、全ての特典提供施設を掲載することにより、より使いやすい内容にするとともに、発行部数も1万部増刷しました。

＜京都きものパスポート＞

- ・有効期間：2019年10月1日～2020年9月30日
- ・特典提供施設数：約450 ※寺院・神社、美術館・博物館、飲食店、小売店等
- ・発行形態：冊子（A6版40ページ）及びWEB
- ・冊子発行部数：6万部

＜きものの似合うまち・京都実行委員会構成団体＞

京都府、京都市、京都商工会議所、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、西陣織物産地問屋協同組合、京染卸商業組合、京都和装産業振興財団



## 6 きもの日における取組

(一社)全日本きもの振興会が制定・提唱する「11月15日はきもの日」をより多くの人に知っていただくため、京都経済センター1階に入居する店舗にきもの着用の協力を呼び掛け、賛同いただいた店舗の従業員にきものを着用して接客い

だくとともに、京都織物卸商業組合及び（一社）全日本きもの振興会と連名で、京都経済センターに入居する全ての団体にきものを着用しての勤務を呼び掛けました。

実施日：令和元年11月15日（金）

1階店舗着用者：3店舗9人 ※当財団できものを用意し着付けを実施

## 7 和装振興コンサートへの協賛

和装振興を目的の一つとして開催されるクラシックコンサート「時の響 2019」に協賛し、きものの着用シーンの提供に協力しました。

開催日：令和元年10月20日（日）

会場：京都コンサートホール大ホール

参加者：約1,200人（うちきもの姿での参加者約130人）

## 8 成人祝賀式への支援

総本山知恩院が主催する「第55回成人祝賀式」参加者のうち、振袖の着付け希望者について、講師派遣の支援を行い、通過儀礼でのきもの着用を支援しました。

開催日：令和2年1月12日（日）

会場：知恩院

協力：和装学院振興協議会

着付け：8人

## 9 宿泊施設従業員向け「歴史・文化体験研修」への協力

京都市観光協会が主催する宿泊施設従業員を対象としたきもの着付け体験に協力し、講師派遣及びきもののレンタルを行い、きもの文化の普及を図りました。

開催日：令和元年10月2日（水）、3日（木）

会場：旧三井家別邸

協力：和装学院振興協議会

参加者：36人

## 10 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組

きもの文化を世界に発信するまたとない機会を活かすため、東京オリパラ組織委員会が実施した表彰式の衣装の公募に対する、（一社）全日本きもの振興会の夏きもの提案について、当財団としても全面的な協力を表明しましたが、採用とはならず残念な結果となりました。

なお、「東京オリパラにおいてきもの文化を発信できる機会があれば、是非とも協力させていただきたい。」との要望を、（一社）全日本きもの振興会とともに組織委員会に行っています。

<表彰式の衣装のプロポーザル>

実施日：令和元年6月14日（金）

応募者数：非公表

落札者：(株)THE CATER 他7社による共同企業体

落札者の提案内容：非公表

<要望活動>

実施日：令和元年11月28日(木)

応対者：(公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 布村副事務総長

## 11 きもの安全・安心推進会議への参加

経済産業省が主催する和装振興協議会をきっかけに、産地・流通・小売りの代表者による和装商慣行改善協議会が発足し、平成30年11月に9つの項目からなる「きもの安全・安心宣言」が出され、令和元年4月に協議会の実働組織となる「きもの安全・安心推進会議」が発足しました。

当財団といたしましても、産地と消費者の安心を掲げ、和装業界の商慣行の改善運動を推進していくという趣旨に賛同して、設立総会に参加しました。

<設立総会>

開催日：令和元年11月8日(金)

会 場：ホテルグランヴィア京都

参加者：約60人

## 【和装教育支援事業】

### 1 学校教育におけるきもの着付け実習への支援

中学校や高等学校等でのきもの着付け体験授業を支援するため、きものの貸出しと着付けを提供し、きもの文化への理解を深めました。より多くの学校で体験授業を実施していただくため、今年度から京都府内の全ての高等学校に案内を送付するとともに、学校の負担を無償としました。

協 力：和装学院振興協議会、NPO 法人京ごころ

(単位：人)

実施日	学 校 名	男子	女子	合計
6月5日	京都工学院高等学校	56	11	67
6月10日	銅駝美術工芸高等学校	21	28	49
6月26日	京都工学院高等学校	46	8	54
6月27日	日吉ヶ丘高等学校	1	4	5
7月6日	嵯峨野高等学校	4	10	14
7月17日	京都工学院高等学校	96	9	105
7月19日	京都共栄学園高等学校通信制課程	5	14	19
7月25日	同志社女子高等学校	0	71	71
7月31日	西京高等学校	0	13	13
9月11日	伏見工業高等学校	15	2	17
10月7日	京都明德高等学校	11	20	31
10月7日	京都明德高等学校	9	13	22
10月8日	洛東高等学校	0	23	23

10月9日	北桑田高等学校美山分校	0	8	8
10月10日	大谷高等学校	11	8	19
10月11日	西城陽高等学校	1	12	13
10月21日	京都明德高等学校	12	19	31
10月21日	京都明德高等学校	19	12	31
10月26日	西城陽高等学校	1	12	13
10月28日	京都明德高等学校	24	18	42
10月28日	京都明德高等学校	19	12	31
11月2日	嵯峨野高等学校	2	8	10
11月7日	宇治市榎島中学校	20	20	40
11月8日	東稜高等学校	17	18	35
11月8日	東稜高等学校	18	17	35
11月9日	京都工学院高等学校	5	12	17
11月11日	東稜高等学校	32	6	38
11月11日	東稜高等学校	18	18	36
11月11日	京都明德高等学校	25	17	42
11月12日	東稜高等学校	9	30	39
11月18日	京都明德高等学校	25	17	42
11月25日	京都明德高等学校	24	18	42
11月27日	京都明德高等学校	10	11	21
12月12日	東総合支援学校	11	3	14
12月13日	東総合支援学校	10	4	14
12月17日	紫野高等学校	13	9	23
12月21日	嵯峨野高等学校	2	8	10
1月9日	東総合支援学校	15	8	23
1月24日	同志社女子高等学校	0	29	29
1月25日	嵯峨野高等学校	2	8	10
1月29日	東山総合支援学校	9	9	18
2月5日	東山総合支援学校	9	9	18
2月25日	同志社女子高等学校	0	29	29
合 計 18校		627	635	1,262

(前年度：25校1,704人)

## 2 大学生きもの着付け塾への支援

若い世代へ和装文化や和装の魅力を発信する活動を続ける「京都着物企画」(京都大学の学生を中心とした学生団体)が主催するきもの着付け塾などを支援し、若者のきもの着用のきっかけづくりや着用シーンの拡大を図りました。

協力：NPO法人京ごころ

(単位：人)

実施日	事業名	男子	女子	合計
4月6日、7日、14日、20日	きもの着付け塾 2019 年春	37	68	105
7月6日	ゆかた着付け塾	15	17	32
9月29日	きもの着付け塾 2019 初秋	0	7	7
11月2日、3日	2019 秋のきもの着付け塾	28	24	52
合 計		80	116	196

(前年度：135人)

### 3 着付け DVD「ひとりで出来る着付け塾」の普及

きものに興味を持たれた方が、一人で着ることができるようになりたいという思いを支援するためのツールとして、着付け DVD「ひとりで出来る着付け塾」を頒布しました。また、室町きもの教室の参加者に教材として配布しました。

頒布数：344枚（前年度：413枚）

## 【企画広報事業】

### 1 あり方検討委員会の開催

厳しい状況が続いている和装業界の活性化を図るため、和装振興に資する新たな取組を検討する場として、あり方検討委員会を設置しました。

業界の中堅・若手の方に委員に就任いただき、4回の会議を重ねる中で、委員から多彩なアイディア・意見をいただき、以下のように取りまとめました。

3月に開催した第25回理事会において、あり方検討委員会からの提案を踏まえ、和装教育の充実と若者に対するアプローチの2つを大きな柱として、取組を進めていくことが承認されました。

#### (1) 開催日

第1回：平成31年4月12日（金）

第2回：令和元年5月22日（水）

第3回：令和元年8月7日（水）

第4回：令和元年10月16日（水）

#### (2) あり方検討委員会からの提案（和装振興に向けた新たな取組）

これまで出された意見のうち、「和装教育の充実」を最優先で取り組む。

小学校から大学までの一貫した取組として、着物の着付け体験を各教育課程で繰り返し行うことにより、“着物を着る”ということに対するハードルを下げ、将来的には、「京都モデル」として、全国の都道府県・市町村への波及を目指す。

##### 《小学校での取組》

##### ○浴衣の着付け教室の開催 <新規>

幼い頃の体験は大人になっても印象に残っていることが多いと思われる

ことから、新たな取組として、小学校での浴衣の着付け体験授業を実施してもらう。

#### ○職人による実演・体験教室の開催 <充実>

現在、京都市では、伝統産業従事者を京都市内の小中学校に派遣し、制作実習・実演等を行う「京の匠ふれあい事業」を実施している。

本事業の更なる充実について、京都市と協議する。

平成30年度実績：小学校37校1,851人。中学校7校703人

#### 《中学校での取組》

##### ○浴衣の着付け教室の開催 <充実>

現在、NPO法人和装教育国民推進会議では、全国の中学校で「浴衣の着付け事業」を実施している。

一方で、同法人は、本年6月に開かれた総会で解散することを決定し、今後は、支部（都道府県）単位での取組が中心になると聞いている。

本事業の継続・充実について、同法人と協議する。

平成30年度実績：全国369校38,564人。うち京都市37校4,453人

#### ○職人による実演・体験教室の開催 <充実>

現在、京都市では、伝統産業従事者を京都市内の小中学校に派遣し、制作実習・実演等を行う「京の匠ふれあい事業」を実施している。

本事業の更なる充実について、京都市と協議する。

平成30年度実績：小学校37校1,851人。中学校7校703人

#### 《高等学校での取組》

##### ○家庭科の先生に対する研修の実施 <新規>

現在、和装財団では、京都府内の高等学校等で「着物の着付け事業」を実施している。

しかしながら、実際の窓口となる家庭科の先生が、そもそも着物を着ることができない、着物に対する理解が低い先生が多いことから、新たな取組として、家庭科の先生を対象とした研修を実施することにより、着物に対する理解を深めていただく。

##### ○着物の着付け教室の開催 <充実>

現在、和装財団では、京都府内の高等学校等で「着物の着付け事業」を実施している。

受講者数の増加を図るため、本年度から、府内の全ての府立・市立・私立高等学校に、校長会等を通じて案内を送付したが、現場レベル（家庭科の先生）にまで伝わっていない学校があるように見受けられるため、来年度は周知方法を工夫し、受講者数の増加を図る。

平成30年度実績：25校1,704人。

#### 《大学での取組》

## ○「きもの学」の開催 <継続及び充実>

全日本きもの振興会が、京都産業大学と連携して、歴史や技術、文化など着物に関する様々なことについて学ぶことのできる講座「きもの学」を開催している。

大学の正規科目として開講され、また、大学コンソーシアム京都と連携し、京都府内のほとんどの大学の学生が参加できるシステムとなっていることから、継続した開催を求める。

また、「きもの学」以外に、着物の着付け等について各大学で取り組んでいただくことができないか、大学コンソーシアム京都と協議する。

## ○着物無料体験&まちあるき事業の実施 <新規>

着付けを無料で行ったうえで、着物姿で京都のまちを散策してもらうことにより、若者に着物の魅力、着物を着る楽しさを知ってもらい、着物ファンの増加及び将来の購買層の開拓を図る。

- ・対象は、大学生だけでなく、20代・30代の社会人も加える。
- ・観光客は対象に含めない。(京都府内在住又は通勤・通学者とする。)
- ・染織青年団体協議会等の青年会との連携について検討する。

## 《若者に対する取組》

### ○「キモノクールプロジェクト」の実施 <新規>

若者に、「着物を着ることがかっこいい」、「着物を着てみたい」と思わせる取組を実施することにより、着物ファンの増加を図る。

#### ◆着物版ベストドレッサー賞の創設

その年に活躍した人に着物を贈呈する。(着てもらおう)

又は

#### ◆着物 PR 大使の創設

着物が似合いかつ着てもらえる著名人(インフルエンサー)を「着物 PR 大使」に任命する。

## 《全般》

### ○和装財団のHPの充実、SNSによる各種情報の発信 <充実>

着物に興味を持った方が、実際に着るようになるまでに直面する、TPO、着付け、着こなし、コーディネート、お店、手入れなど、様々な問題について、その手助けとなるような情報をHPに盛り込む。

また、着物に関するイベントや講座など、各種情報をSNSで発信する。

## (3) 委員名簿

氏名	所属団体	事業所名及び役職名
川中 隆 ※委員長	京都和装産業振興財団	京都和装産業振興財団副理事長 (株)川中代表取締役社長
上田 清和	京都和装産業振興財団	京都和装産業振興財団専務理事

野瀬 守弘	京都織物卸商業組合	啓明商事(株)代表取締役社長
吉村 隆介	京都織物卸商業組合	(株)吉村商店代表取締役社長
今河 宗一郎	西陣織工業組合	今河織物(株)代表取締役社長
山口 行子	西陣織工業組合	ヤマキ織物(株)、西陣帯地青年会幹事長
関谷 幸英	京友禅協同組合連合会	(株)関谷染色代表取締役社長
吉田 麗	京友禅協同組合連合会	京都手描友禅協同組合青年会会長
木村 正也	西陣織物産地問屋協同組合	木村卯兵衛(株)代表取締役社長
長谷川 浩一	西陣織物産地問屋協同組合	(株)長谷川代表取締役社長
猪田 尚志	京染卸商業組合	猪田商店
寺村 貞亮	京染卸商業組合	テラムラ代表取締役社長

## 2 消費者に対する相談窓口の開設

きものや帯の色あせ、シミ、ほつれや仕立て直しなどの困りごとを、専門家に気軽に無料で相談できる「きものよろず相談窓口」を、「きものステーション・京都」と連携し、京都染色補正工業協同組合及び京都府和裁協同組合の協力を得て、定期的に開催しました。

今年度は、開催回数を増やすことにより利便性の向上を図り、多くの方々に利用いただきました。

共 催：京都市、きものステーション・京都

協 力：京都染色補正工業協同組合、  
京都府和裁協同組合

開 催 日：毎月第4土曜日 午後1時～4時  
(8月・12月を除く)

会 場：きものステーション・京都  
(京都経済センター1階)

相談者数：62人(前年度：27人)

## 3 和装情報の発信

HPにおいて和装に関する基礎知識や情報を発信するとともに、当財団の実施する事業を周知しました。

また、きもの文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組や関係団体の取組等をバナー掲載し、リンク貼り付けをすることにより多くの方に見ていただけるように努めています。

### 【きもの文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組】

#### 1 第3回和装(きもの文化)ユネスコ登録推進・連絡協議会の開催

開 催 日：令和元年10月25日(金)

開催場所：京都経済センター会議室

内 容：講演及び協議会の取組に関する報告・協議

## <講演会>

テーマ：「文化庁の京都移転と地域文化創生本部」

講師：三木忠一文化庁地域文化創生本部事務局長

内容：地域文化創生本部としても生活文化の振興には力を入れており、新たに生活文化担当の調査官を設置するなど体制の充実を図っている。

生活文化調査研究事業については、平成29年度から基本調査を実施しており、今年度は和装をはじめ8分野の団体調査を実施する。基本調査は今年度で終了し、来年度以降は詳細調査を実施する。

## 2 ブース出展による啓発

広く一般の方への周知を図るため、行政や経済団体等が主催するイベントにブース出展し、啓発グッズを配付するとともに、きものを羽織っての着用体験と、併せてミスきもの・京都とのユネスコPR写真の撮影により、多くの方にきもの文化を発信しました。

### (1) 「京都・くらしの文化×知恵産業展」への出展

開催日：令和元年9月3日（火）～5日（木）

開催場所：京都市勧業館「みやこめっせ」

主催：京都商工会議所、文化×知恵産業展実行委員会、京都文化カプロジェクト実行委員会

### (2) 「京都・くらしの文化まつり」への出展

開催日：令和元年10月19日（土）、20日（日）

開催場所：京都経済センター 産業会館ホール

主催：京都文化カプロジェクト実行委員会

※令和2年3月14日、15日に予定されていた「京友禅総合展第25回京手描友禅作品展」（京友禅協同組合連合会、京都手描友禅協同組合主催）への出展については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止となりました。



## 3 主催者・出展者との連携による啓発

### (1) クラシックコンサート「時の響」2019での啓発

京都市交響楽団コンサート「時の響」2019が、和装振興を目的の一つとして開催されることから、主催者と連携し取組を周知しました。

開催日：令和元年10月20日（日）

開催場所：京都コンサートホール

主催：「時の響」2019 実行委員会（大日本印刷（株）、（公財）京都市音楽芸術文化振興財団、（株）エフエム京都）

## （2）「KOUGEI EXPO IN IWATE」での啓発

伝統的工芸品の普及を目指して岩手県で開催された第36回伝統的工芸品月間国民会議全国大会「KOUGEI EXPO in IWATE」において取組を周知しました。

開催日：令和元年11月3日（日）～5日（火）

開催場所：岩手県岩手産業文化センター

主催：伝統的工芸品月間推進会議、（一財）伝統的工芸品産業振興協会、日本伝統工芸士会、岩手県伝統的工芸品月間推進協議会

## 4 海外の方に対する周知（英語版啓発チラシ等の作製）

上記の「京都・くらしの文化×知恵産業展」では、多くのICOM（国際博物館会議）関係者が来場すること、また、令和元年10月に関西広域連合が実施した欧州方面のトッププロモーション（団長：西脇京都府知事）のレセプションがパリのユネスコ本部で行われることから、英語版の啓発チラシや懸垂幕（立て看板）、横断幕を作製し、海外の方に対しても取組の周知を行いました。

## 5 啓発グッズ・啓発チラシの作製

平成30年度に作製した啓発グッズ（ミニシール、ステッカー、しおり）及び啓発チラシについては、いずれも好評であったことから、作製枚数を大幅に増やし、周知・啓発の強化を図るとともに、新たな啓発グッズとして、クリアファイルを作製しました。

○ミニシール：③5,000枚→①5,000枚

○ステッカー：③1,000枚→①5,000枚

○しおり：③5,000枚→①25,000枚

○チラシ：③6,500枚→①15,000枚

○クリアファイル：3,000枚



## 6 賛同団体との連携

取組に賛同いただいた226団体に対し、ロゴマークの積極的な活用を依頼する文書を送付するとともに、啓発グッズや啓発チラシを送付し、周知・啓発の取組に対する協力を依頼しました。

## 7 ホームページのリニューアル

本協議会の取組をわかりやすく伝えるために、ホームページをリニューアルする

とともに、適宜更新することにより迅速な情報発信を行いました。

## 8 関係機関との意見交換等

文化庁をはじめとする関係機関と定期的に意見交換するとともに、経済産業省主催の和装振興協議会において取組状況の報告を行いました。

- 6月24日 文化庁地域文化創生本部（京都）と意見交換
- 11月28日 文化庁文化資源活用課（本省）と意見交換
- 11月28日 第8回和装振興協議会において当協議会の取組を報告
- 11月28日 経済産業省生活製品課と意見交換
- 12月26日 文化庁地域文化創生本部（京都）と意見交換

## 【その他】

### 1 後援名義・共催名義・賞状交付他 全13件

会期	催し名	主催	交付
4月6日	平成31年度十三まいり	京都織物卸商業組合	後援名義
8月1日	第44回京のゆかた祭り	京都織物小売協同組合	後援名義
9月1日～ 2年3月	京都きものオーディション —2020 京都・ミスきもの選考会—	京都きものオーディシ ョン開催委員会	後援名義
9月23日	第17回京都・西陣伝統文化祭「千両ケ辻」	伝統文化祭「西陣千両 ケ辻」実行委員会	後援名義
10月13日	第17回京都学生祭典 ～kyoto Intercollegiate Festa～	京都学生祭典実行委員 会	後援名義
10月15日 ～16日	第91回詠友禪染競技会	京都詠友禪工業協同組 合	後援名義 賞状 楯
11月3日	2019 西陣きもの・帯フェスティバル	西陣織物産地問屋協同 組合	後援名義 賞状
11月9日	令和元年度七五三詣り	京都織物卸商業組合	後援名義
11月9日 ～10日	詠友禪フェア —きもの楽市—	京都詠友禪工業協同組 合	後援名義
2月16日	第66回京仕立和裁生徒技術コンクール	京都府和裁協同組合 一般社団法人日本和裁 士会京都府支部 京都府和裁技能士会	後援名義 賞状
3月14日 ～15日	京友禪総合展「第25回京手描友禪作品展」	京友禪協同組合連合会	後援名義
3月15日	KIMONO Together～きものをみんなで楽しもう！～	京都駅ビル開発株式会 社	後援名義
3月18日	京友禪総合展「京都友禪協同組合創立70周年記念京友禪競技大会」	京都友禪協同組合	後援名義 賞状

## 2 会議関係

### (1) 評議員会

回	月 日	会 場	出席者	議 題
第 13 回	6 月 20 日 (水)	京都経済センター 4 階会議室「4-D」	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の選任</li> <li>・理事の選任</li> <li>・平成 30 年度貸借対照表 (案)、 正味財産増減計算書 (案) 及び 財産目録 (案)</li> </ul>

### (2) 理事会

回	月 日	会 場	出席者	議 題
第 23 回	4 月 1 日 (月)	書面決議 (4 月 15 日)		・専務理事の選任
第 24 回	5 月 31 日 (水)	京都経済センター 4 階会議室「4-D」	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度事業報告書 (案)</li> <li>・平成 30 年度貸借対照表 (案)、 正味財産増減計算書 (案) 及び 財産目録 (案)</li> <li>・令和元年度定時評議員会の招集</li> <li>・和装文化振興基金の一部取り崩し</li> </ul>
第 25 回	3 月 18 日 (月)	書面決議 (3 月 24 日)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 2 年度事業計画 (案)</li> <li>・令和 2 年度予算 (案)</li> <li>・令和 2 年度借入金の最高限度額</li> <li>・和装文化振興基金の一部取り崩し</li> <li>・規則及び規程の改正</li> </ul>

### (3) 正副理事長会議

回	月 日	会 場	出席者	議 題
第 1 回	4 月 26 日 (金)	京都経済センター 3 階会議室「3-A」	6	・東京オリパラの表彰式で介添人が 着用する衣装
第 2 回	5 月 23 日 (木)	京都経済センター 3 階会議室「3-A」	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 24 回理事会の議案</li> <li>・東京オリパラの表彰式で介添人が 着用する衣装</li> </ul>
第 3 回	11 月 26 日 (火)	京都織物卸商業組 合理事長室	6	・あり方検討委員会での議論を踏ま えた和装振興に向けた新たな取 組
第 4 回	2 月 20 日 (木)	京都織物卸商業組 合理事長室	6	・第 25 回理事会の議案